

# 図書館だより

発行 多可町図書館

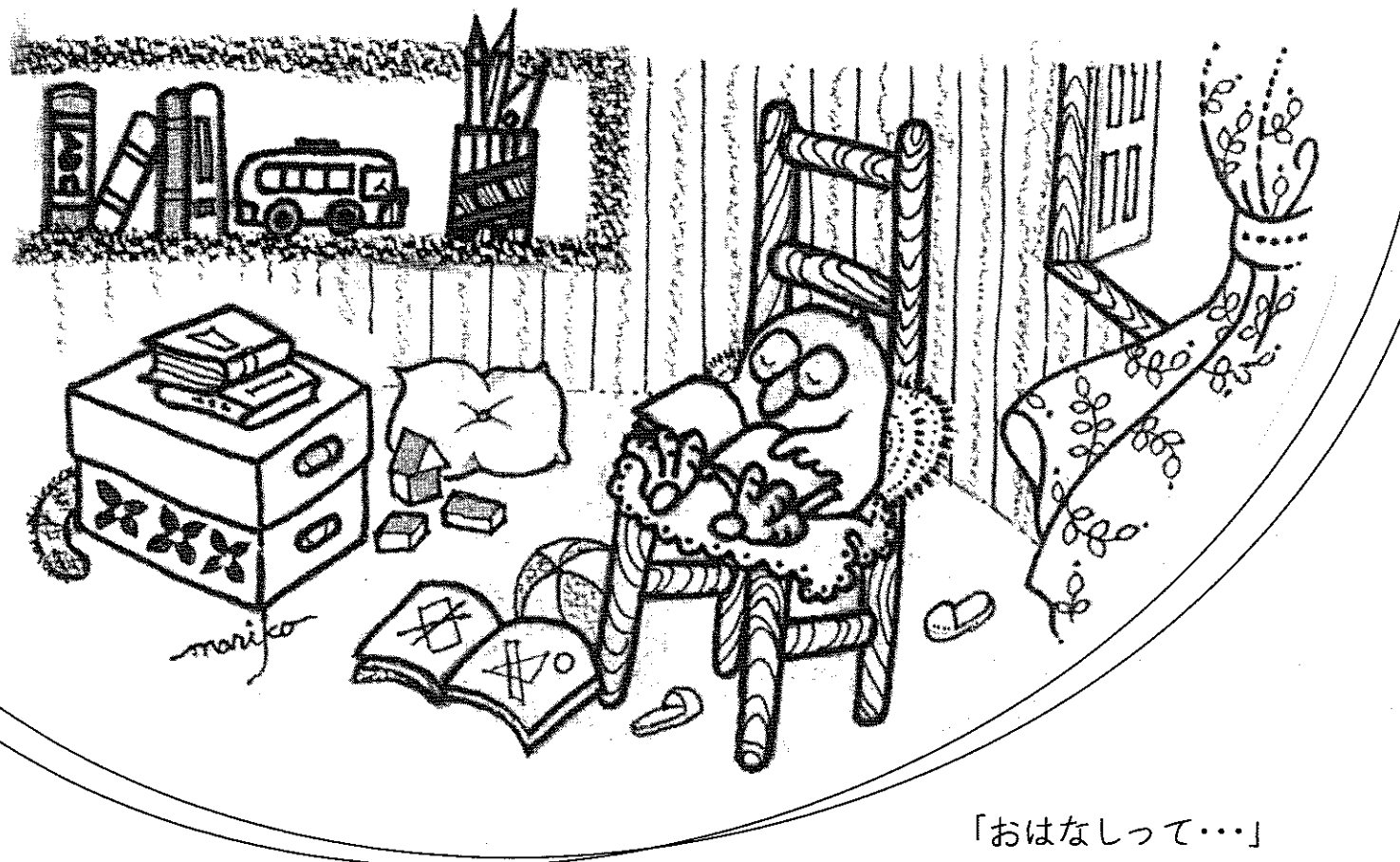
〒679-1133

多可郡多可町中区靴屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



「おはなしって…」

加美区 安平利江

図書館のストーリーテリング講座で「おはなし」に触れ、その底の深さに圧倒されているうちに、いつの間にか自分でも子どもたちの前で語るようになっていた。他にないおもしろさを子どもたちに、と思ったものの、あがり症の小心者にはほとんど捨て身の行為である。

幾多の星霜を経て語り継がれてきた物語のもつ力を信じ、一心におはなしをさし出すと、聞き手の子どもたちは素直にそれを受け取ってくれる。まっすぐ見開かれた双眸に、頬の上に、物語の世界が蘇り動いているのがある。ありと感ぜられる。新米の語り手を押寄せる鼓動の奔流から救いあげるように、そろっておはなしの中に入ってきてくれるのである。やがて、語り手と聞き手ひとりひとりの間に心地よく張りつめてくる息遣いのようなものを、クライマックスに向かうおはなしが束ねてゆく。語られる言葉を聞きながら各々のイメージを紡ぎ、同質の感情体験をし、幸せな結末を迎えるとき、そこに居合わせた誰にも漂う、えもいぬ連帯感、信頼感、安堵感。これこそがクラス皆でおはなしを聞くということの醍醐味であると思う。

学校の図書室には、本を好きな子どもでない子ども、字を読むのが苦手な子どももやってくる。本棚の前にいながら、なお本に親しみを持てないでいる子の心もとなさ。

体験としてのおはなし、心を解放することのできるおはなしは、その楽しさで子どもと本をつないでくれる。たつた今聞いたおはなしの本を大事そうに借りていつてくれる姿は、息切れするほどの緊張さえ帳消しにしてしまう。本を間に、子どもと心をやり取りするひととき、あのまっすぐな眼差しに助けられながら、おはなしの楽しさをさし出していききたい。アンデルセンの描いた、死の淵にある皇帝に命の真実をもたらした「うぐいす」に、気持ちだけはな

## 『天地明察』

沖方丁／著 角川書店 (Fウフ)

四代将軍・徳川家綱の頃。算術に心血を注ぐ渋川春海に、ある命令が下る。それは「改暦」。平安時代から続く当時の暦は、すでに誤差が生じていたのだ。何度も挫折しながら、春海は新しい暦の研究に取り組む。

迷いや驚きを素直に表現し、算術や暦の研究に没頭する春海の姿は、とても清々しい。また、和算の達人・関孝和や、幕府からも民衆からも信頼の厚い会津藩主・保科正之など、他の登場人物もとても魅力的だ。(え)



## 『空気は読まない』

鎌田實／著 集英社 (490 力)

今、空気を読むことがとても大切とされる。しかし、空気は読めても流されないことの方が大切ではないか、時にはあえて空気を読まないことも必要と筆者は説く。

歓迎されない空気を押し切って実施された「弁当の日」を皮切りに、あえて空気を読まなかった人、空気にながれなかった人、かきまわした人、変えた人が次々に紹介されている。世の中、普通の人でこんなに凄い人がいると身震いさせられ、この空気になら染まってみたいと思わせる一冊。(と)



## 平成21年度利用状況 (3月10日現在)

蔵書冊数：112,590冊

内訳 多可：92,780冊  
加美：11,741冊  
八千代：8,069冊

貸出人数：31,120人

貸出冊数：162,383冊

## ふくちゃんのウインク

最近、話題にのぼるとすぐにドラマ化されたり、映画化されたりします。ところが、スタジオジブリが手がけた「借り暮らしのアリエッティ」の原作、『床下の小人たち』は、装丁の地味さと本から受ける堅いイメージで、最近の子ども達には敬遠されがちです。しかしながら、1952年の出版以来、世界中で読み継がれてきた、ハラハラどきどき大変おもしろい物語です。今回の映画化を機に、続編も含め多くの方に読んでいただきたいと思う一冊です。(よ)



## 『ぼく、ひとりだけでいけるよ』

ムーア／作 偕成社 (K933 ム)

勇敢なアライグマの子どもリトル・ラクーンは、お母さんから、一人で小川まで行って夕ご飯のザリガニを取ってくるように言われました。その日は満月で、その明かりをたよりに、途中でヤマアラシおじさんたちに励まされながら小川まで着きました。

ところが、丸木橋を渡っていると、水の中から何かがこちらを見ている。さて、リトル・ラクーンはどうなるのでしょうか。(ふ)



## Bookガイド



## 映画の原作を 読んでみよう

公開日	書名	著者
4/9~	シャッター・アイランド	デニス・ルヘイン
4/17~	アリス・イン・ワンダーランド (不思議の国のアリス)	ルイス・キャロル
5/22~	ボックス!	百田尚樹
6/5~	孤高のメス	大鐘稔彦
7/10~	必死剣鳥刺し(隠し剣孤影抄)	藤沢周平
7/17~	借りぐらしのアリエッティ (床下の小人たち)	メアリー・ノートン
2010 夏	カラフル	森 絵都
2010 秋	行きずりの街	志水辰夫
2010 秋	ジーン・ワルツ	海堂 尊
2010 秋	桜田門外ノ変	吉村 昭
2010.12	ノルウェイの森	村上春樹

( ) 内は原作のタイトルです。

クイズのこたえ I...④ II...③ III...①  
IV...④ V...③

# らくちゃんの言の葉 便り

## パステルで描く、いのちの輝き ～ いわさきちひろ編 ～

小さい子どもがきゅっとさわるでしょ、あの握力の強さはとてもうれしいですね。あんなばちやばちの手からあの強さが出てくるんですから。そういう動きは、ただ観察してスケッチだけしていても描けない。ターツと走ってきてバタツと飛びついてくるでしょ、あの感じなんてすてきです。

— ちひろ美術館ホームページ より —

いわさきちひろさんは、ヨーロッパの水彩画と中国や日本の伝統的な水墨画の技法を用いることで透明感のある独特の作風を生みだしました。あたたかな母親のまなざしから描きだされてくる幼い子どもの姿や表情は、とてもいとおしく私達の心に染み込んできます。

1977年の秋に、自宅があった東京都練馬区で『ちひろ美術館・東京』が開館、1997年の春には両親が終戦の年に開拓を始めた長野県安曇野で『安曇野ちひろ美術館』が開館しています。55歳で生涯を終えたちひろさんですが、「世界中のこどもみんなに平和としあわせを」との願いは作品の中に生き続けています。

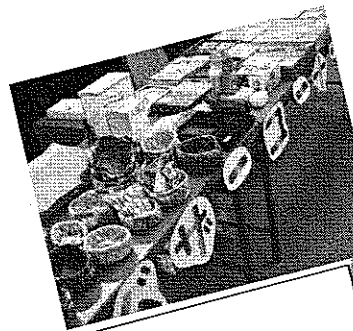
### いわさきちひろさん に関する クイズです。

《こたえは最後のページに》

- I 「ちひろ美術館」に収集されている絵画の数は  
①850枚 ②1,000枚 ③5,800枚 ④8,500枚
- II 「ちひろ美術館・東京」の館長を務めるのは  
①松本猛 ②アグネス・チャン  
③黒柳徹子 ④三宅裕司
- III 昭和15年、大連(中国)より帰国後にめざした職業は  
①書道家 ②美術の先生 ③洋裁家 ④雑誌編集者
- IV 1972年にポーロニャ国際児童図書展でグラフィック賞を受賞した作品は  
①あめのひのおるすばん ②あかちゃんのくるひ  
③となりにきたこ ④ことりのくるひ
- V 自著を寄贈すると入場料が無料になった博物館は  
①メーテルリンク博物館 ②イソップ博物館  
③アンデルセン博物館 ④グリム博物館

3/6

特産品コーナー



3/6  
布えほんサークルに  
よるバザー

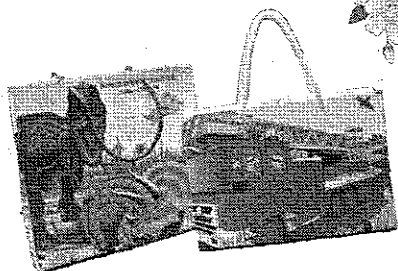
## 図書館まつり

## ご来館ありがとうございました

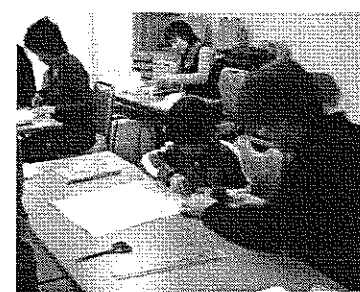
第6回図書館まつりを3月6、7日と開催しました。小雨の降る中、たくさんの方にご来館いただき、初日の開館前には約120名の方にお並びいただくほどの盛況ぶりでした。



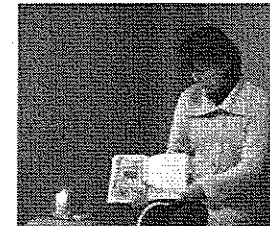
3/6 絵手紙わくわくタイム



3/6 リサイクル広場  
いい本は見つかったでしょうか?



3/6  
大切な本を丁寧に  
コーティング



3/7

今回のおはなし会では、今年度ストーリーテリングの講座を受講された4名の方にお話を語っていただきました。

3/6

「ものがたりのタベ」～大人のためのおはなし会～

いつもは子どもを対象に行っているおはなし会。絵本は大人も十分に楽しむことができます。そこで、おはなしを3話。それから、絵本をプロジェクターに投影して2話。今後もこのような機会がもてればという声もでました。



「子どもと本 本を選ぶ」  
大澤百世

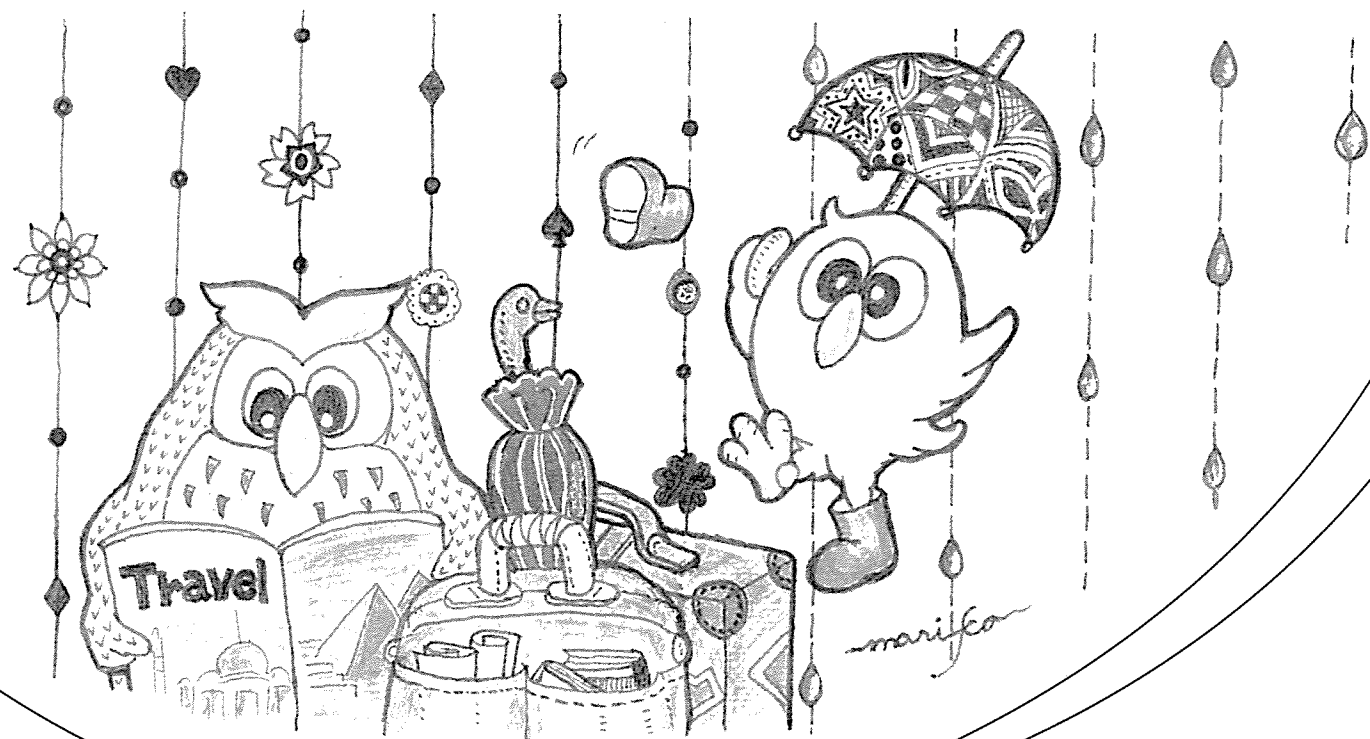
子どもが読む本をおとなが選ぶということに抵抗を示す人たちがいます。「子どもが手に取るものを、自由に読ませれば良いではないか。選ぶのはおとなの横暴だ」とさえ、云う人がいます。けれども、子どもの本の世界にも消費経済の原理が働いて、目に飛び込む刺激的な本が出版され続ける現代においては、やはり、本も選ぶ必要があるのです。子どもが好きだからと、ファストフードばかりを与える人はいないでしょう。少しでも、栄養のあるもの、身体の調子を整える食べ物を与えようとおとなは努めます。身体を養う食べ物を選択しなければならぬのですから、心を養う本を選ぶこともまた、大切なことなのです。人間が二足歩行を始めてから、言語を獲得するのに実に、五百万九十五年ほどかかっていると云われています。それほどの年月をかけて人間が獲得した能力を、多くの子どもはわずか数年で獲得してしまうのですから、その能力は素晴らしく驚くべきことです。それほど貴重な子ども時代を、おとなの商業主義に染まったり、おやつのような本で満たしてしまったりはならないのです。本を読むことは心を養うことです。子どもがこれから生きていく上で、人生に対して、人間に対して信頼感を持てるような本を選んで下さい。図書館で、ぜひ、相談なさって下さい。楽しい本の世界が図書館では、静かに待っています。



# 図書館だより

発行 多可町図書館  
〒679-1133  
多可郡多可町中区糺屋 434-11  
TEL 0795(32)5170  
FAX 0795(32)5171  
tp://www.library.taka.hyogo.jp/

※トライやる生にタイトルロゴを書いてもらいました。



## 「いい加減な暮らし」 八千代区 池田幸恵

八千代に私たちが越してきて十八年。息子たちは自立し、今は夫婦でお金をかけないケチな暮らしを続けている。そもそも、こんな暮らしや仕事のきつかけは図書館で借りた、たくさんの本だった。

年子の息子二人の育児中、絵本は必需品。次男の授乳中、空いた片手で絵本を持ち長男に読み聞かせ。これでもちよち歩き、長男をそばに座らせておくことができた。育児にイライラしても、「絵本の時間！」になると、ひざに一人ずつ座り三人で絵本に感動のひと時。毎日何冊も読む絵本はもちろん図書館で。息子たちがしつかり歩けるようになると、バッグに本とお弁当を入れ往復8kmの道程をピクニック気分分で図書館通い。そのうち、私はお気に入りの絵本作家のエッセーも読破。彼らの優しさは田舎暮らしから生まれる、と思った。

絵本などを参考に子どもと一緒にできる調理、工作、自然観察などにも挑戦。一緒にパンを作ったり、味噌、納豆も・頑張れば頑張るほど思い通りには行かない育児。環境を変えるしかない、絵本作家のような田舎暮らしを模索するようになった。

紆余曲折の結果八千代に越すことが決まり、準備期間中にある人を訪問。その時の手土産は本を見ながら作った納豆。「なかなかおいしいね。納豆屋になったら？」と、思わぬ展開に「それもおもしろそう」と仕事が決まった。

八千代で暮らし始めると、謎や知りたいことがいっぱい。それらを解決してくれる人も少なく、結局図書館の本で、田畑の無農薬栽培、農産加工、食べられる野草や薬草、動物や虫の名前など自給自足に必要な知識を得た。今では図書館で、自分が困っていることを解決する本を見つけて出す技を身につけた。と言うより、本があると安心できるからだろうか。図書館は暮らしと心の救急箱。本といい加減な旦那と、幸せに恵まれ暮らしている。

## 『昆虫部』

梶本孝思／著 幻冬舎 (Fスキ)

趣味もなく、友だちもない。何もかもがつまらない。何もやる気が起こらない。そんな退屈で孤独な高校生活を過ごしていた颯太郎が、なぜか昆虫部の勧誘を受けて入部することに…。

ふだんは寡黙なのに昆虫のこととなると饒舌になる昆虫部部長や明るくて元気な女子部員とともに活動していくことで颯太郎自身も大きく変わっていきます。

昆虫部だけに虫の生態が生き生きと語られていて、虫好きの人はもちろん、そうでない人もきっと楽しめます。(す)



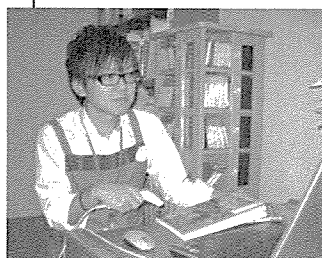
## 『これからの「正義」の話をしよう いまを生き延びるための哲学』

マイケル・サンデル／著 早川書房 (311サ)

ハーバード大学。そう、世界トップクラスの大学である。学部生の中で最も人気のある講義の一つである「Justice(正義)」。「1人を橋から突き落とせば、5人の命を救える状況に置かれたら、あなたならどうするか？」などいくつかの事例を用い、古今の哲学者たちの考え方を吟味し議論していく。現代世界の中で本当に正しいこととは何なのか？14,000人もの学生を惹きつけたその講義を体感してください。(し)

これからの「正義」の話をしよう  
いまを Justice  
生き延びるための哲学  
マイケル・サンデル 著 早川書房

この4月から健康福祉課より異動してきました繁田です。学生時代、勉強に勤しむため、よく近隣の図書館は利用させていただきました。まさか、自分が図書館の職員になるとは夢にも思っていませんでした。子どもの頃から本が好きで、どこか行きたびに祖父母に買ってもらっていたのを思い出します。おもにマンガでしたが……。私自身、多くのことを本から教わってきたと感じますし、またこれからも学び続けたいと思っています。頼りになる上司の方々にお世話になりながら、成長していけるように頑張りたいです。



まだまだ分からないことばかりでみなさんには迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いいたします。 繁田和也

## 『はちうえは ぼくにまかせて』

G. ジオン／作 M.B. グレアム／絵  
ペンギン社 (Eク)

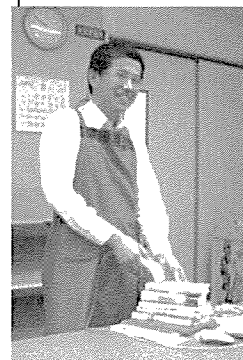
トミーは夏休みに旅行する人の鉢植えの世話をすることにしました。上手に世話をすると植物はどんどん伸びて、家の中がジャングルみたいになります。トミーは「こんなおもしろいこと今までに一度もなかった」おとうさんは「こんなつまらないこと今までに一度もなかった」と思います。子どもと大人の感覚の違いもおもしろく、どうなることかと思いきや、満足のいく結末は、夏休みになるとお薦めしたくなる本です。(と)



## Bookガイド



加美地域局から図書館に職場が替わりすでに3ヶ月も過ぎ、ようやく新しい仕事にも慣れてきた今日この頃ですと言いたいところですが、やはり図書館は今までの職場とは少し異なり、何かととまどうことの多い毎日です。返却された図書を元に戻すにも所定の場所がわからず、あちらこちらと探し回って館内をさまよい歩いたり、図書館だよりなどにのせる新刊本の紹介の原稿がうまく書けずに悩んだり…。



少しでも早く利用者みなさんのお役に立てるように職場のみなさんのご指導を得ながら頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

杉原 正



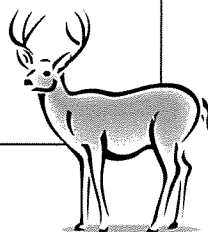
## ふくちゃんのウインク ～スタッフ紹介～

4月から新メンバー2名を迎え、早3ヶ月が過ぎました。とってもエプロン姿の似合うやさしい男性2名。図書館の新戦力です。でも、以前からのメンバーもよろしくね。(よ)

こと 葉  
ふくちゃんの言の 便り  
まほろばの 美しき言の葉つづり  
～ 万葉集 編 ～

万葉集の、世に聞こえた名歌を  
大木にたとえるなら、  
人に知られない美しい歌は、  
草かげに咲く繊細な花といえるでしょうか。

清川 妙  
—清川妙の萬葉集より—



あおによし 寧楽の都は 咲く花の  
薫ふがごとく 今盛りなり

と詠われた古都奈良は、平城遷都 1300 年祭を迎えて賑わいをみせています。このいにしえの時代に編纂された万葉集は、大伴家持らにより主に 629 年から 759 年までの 130 年間に詠まれた短歌・長歌などを 20 巻に収めた日本最古の歌集です。それぞれの巻には、天皇から旅人までが詠んだ恋の歌・四季の歌・旅の歌・宴の歌・死を悼む歌など約 4530 首が収められています。

菫草指 武良前野逝 標野行 野守者不見哉 君之袖布流  
(この歌は、万葉集初期の女流歌人・額田王が詠んだ有名な歌です。)

このように万葉集は、万葉仮名と呼ばれる表音文字で書かれていますので、原本を読むのには苦勞するかもしれません。しかし、万葉集とは「万の世に伝わるべき歌集」の意味を持つとされていますので、遷都祭の今年は、万葉のこころを受け継ぎに図書館を訪ねてみてはいかがでしょうか。

\*最初の短歌は、大宰府に赴任した小野老が天平元年（729 年）に詠んだとされています。

\*額田王の歌は  
あかねさす 紫野行き 標野行き 野守は見ずや 君が袖ふる

万葉集に関するクイズです。

《こたえは最後のページに》

I 平城京（710 年）に都が移った時代の万葉歌人は

- ①山上憶良 ②柿本人麻呂  
③藤原定家 ④紀貫之

II 万葉集に収められている大伴家持（編纂者）の歌数は

- ①78 首 ②94 首 ③100 首 ④478 首

III 万葉集の中で最も多く登場する花の名は

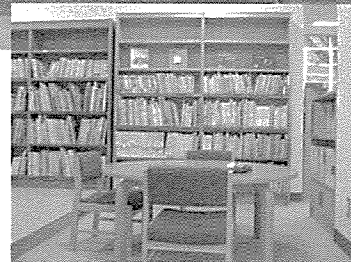
- ①さくら ②たちばな ③うめ ④はぎ

IV 万葉集の中で登場しない昆虫の名は

- ①とんぼ ②ちょう ③くも ④せみ

V 万葉集に詠われた最南は鹿児島県ですが、最北の県は

- ①長野県 ②千葉県 ③宮城県 ④青森県



5月6日

加美図書館リニューアルオープン

加美プラザのオープンと共に図書室もリニューアルしました。現在蔵書数は約一万二千冊です。これからどんどん新しい本を増やしていく予定です。楽しみにしていてください。皆さんからのリクエストもお待ちしています。また、本の取り寄せや、多可町図書館もしくは八千代図書館で借りた本をここで返すこともできます。

5月15日にはオープン記念おはなし会を開き、「サザエさん」に再度ご登場いただきました。今後も折にふれ、催しを開きたいと考えています。

みなさんのご来館をお待ちしています。



※「ペープサート」

紙に絵を描き、それを棒に貼って作った人形を動かして演じる紙人形劇



4月23日  
こどもの読書週間  
おはなし会

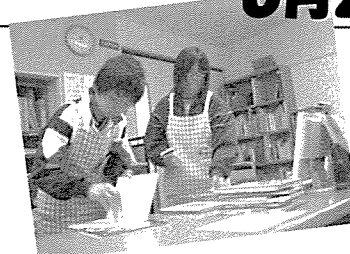
4月23日～5月12日はこどもの読書週間です。その読書週間に合わせて特別おはなし会を開催しました。昨年は八千代のお話サークル「はなともの」のみなさんにお世話になりました。そして、今回はボランティアグループ「サザエさん」にご協力いただき『じゅぎゅ』のペープサートをしていただきました。この「サザエさん」は、昨年お子さん達が松井幼稚園在籍中に結成された保育ボランティアグループです。卒園記念に作製されたペープサートを今回は幅広い年齢のお子さん達に楽しんでいただきました。これからもこのような場を提供することによって子どもと本をつなぐボランティア活動の輪が広がり、さらには子ども達が本に親しむきっかけづくりになればと思っています。

トピックス



6月2日～6日

トライやるウィーク



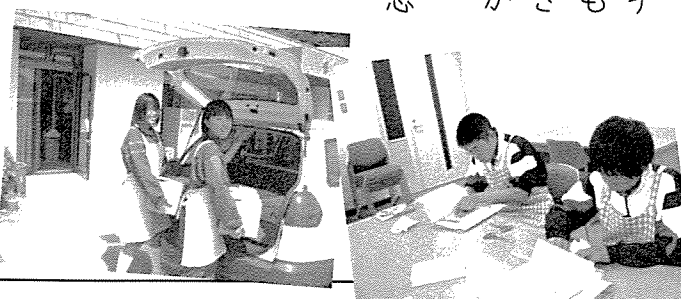
一番心に残ったのは本のコーティングです。誤って貼ったところもあったけど、そこは担当の方がきちんと直してくださり何事もなくつたようにしていただきました。この5日間自分は良かったなと思いました。（に）

トライやるを終えて印象に残ったことを聞きました。

今年は生徒4名が図書館の仕事を経験しました。5日間という限られた期間の中で図書館の開館前の準備、本のコーティング作業、おすすめ本の紹介、回送業務など、普段は見ることのない図書館の業務を体験してもらいました。



5日間本当に楽しかったです！カウンターの仕事は緊張しました。でも、どんどんやっていくうちにちよつとずつ分かってきて楽しかったです。パズルを作るのも楽しかったです。（ふ）





# 図書館だより

発行 多可町図書館

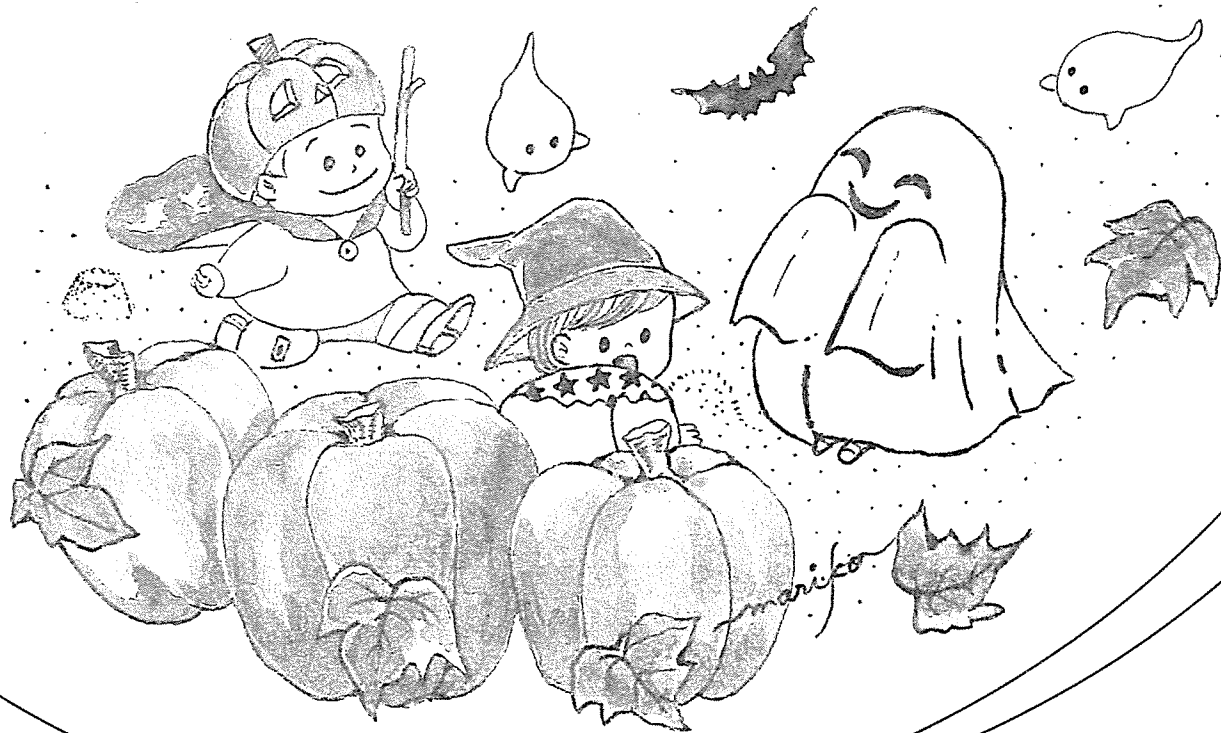
〒679-1133

多可郡多可町中区糀屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



## 「新図書館の建設」を念じて

サポーター・ねっと副会長 杉浦輝雄

この図書館のボランティアグループ「サポーター・ねっと」の一員として、開館当初からメンバーの仲間と共に今日まで図書館の活動に関わってきました。今や、多可町図書館の活動は年を追って活発になり、職員のみならずも積極的に仕事を続けられており、来館者の信頼も日ごとに深まっています。また、書籍などの充実も計画的に行われていて、それは大変うれしいことなのですが、最近ではすっかり書架が狭くなってしまうほどの状況です。いわば満員電車の中の乗客のように、ほとんどの棚の図書がぎゅうぎゅう詰めの状態になってきており、「助けて!」とあちこちの本からの切実な悲鳴が聞こえてきそうです。

つまり、施設がすっかり手狭になってきており、そのうえ建物の老朽化も進んでいるのです。なにしろ、古い施設の転用でオープンしたのですから…。図書館の関係者間では、寄るたびごとにそのことが話題になり、新しい図書館の建設を待ち望む声が大きくなってきました。

社会教育の重要な役割を担っている図書館の活動こそ、これからの地域の子どもの健全育成に大きく寄与するところであると思っています。小さい頃から図書館を利用しながら、よい読書習慣を身につけていくことが、その子どもたちの望ましい成長とともに、「心のビタミン」になっていくものと思われまします。

もっと、このような声を地域の中で高めていき、私たちの「新図書館建設の思い」が、一日も早く地域住民全体の思いになり、多可町全体をその方向へ動かしていくことができればと、強く念じている昨今です。

## 『猫背の目線』 横尾忠則／著

日本経済新聞出版社 (914 円)



2つの雑誌に掲載されたエッセイをまとめたものです。雑誌の連載なので、この話さっきもあったなあというところもあります。でも「嫌なことはしない、好きなことだけをする」「本を読んでも何も覚えていない」など、タイトルだけ見てもおもしろく、読みながらなるほどと頷いたり、思わず笑ってしまったりします。50歳くらいの寿命と言われ、そのつもりが気付けば古稀をこえていたという横尾さんの、自然体のエッセイです。(と)

## 『小惑星探査機 はやぶさの大冒険』

山根一眞／著 マガジンハウス (538 円)

地球と火星の軌道を横切るように公転している小惑星イトカワを間近で観測、そのかけらを採集し地球に帰還するという宇宙航空研究開発機構による壮大なプロジェクトのために開発された「はやぶさ」。7年もの長い年月をかけて、往復60億キロという気の遠くなるような行程を終え今年6月に無事地球に帰還しました。その試練に満ちた行程中には数多くのトラブルが発生。そのつどスタッフの知恵と技術で乗り越えていくようすを描きます。(す)



## 「ストーリーテリング中級講座」受講生募集

ストーリーテリング講座を以前に受講された方または地域で実践活動をされている方を対象に、スキルアップ講座として10月27日より開講いたします。詳しくは広報10月号をご覧ください。



### ふくちゃんのウインク

本の出版は、まず文芸誌などに掲載された後、単行本として出版され、その数年後値段の安いポケットサイズの文庫本になって、書店に再び並ぶのが一般的なスタイルです。ところが今回、「ふくちゃんの言の葉だより」で取りあげた佐伯泰英さん、それ以外にも藤原緋沙子さん、高田郁さんなど最近の人気時代小説作家の方々は直接文庫本で書き下ろして発表されており、こういった出版スタイルが増えてきています。

## 『ソルハ』

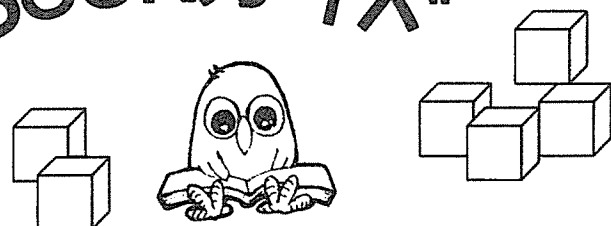
ははきぎほうせい

帯木蓬生／著 あかね書房 (K913 ハ)



みなさんは、アフガニスタンという国を知っていますか？耳にすることはよくあるけれど、詳しく知っているという人は少ないのではないのでしょうか。この『ソルハ』は、アフガニスタンの少女ビビが、5歳から15歳になるまでの物語です。何もかもが不思議で、新鮮なことばかりだった子ども時代。ただ、ビビの周りには戦争がありました。ビビは、『ソルハ(平和)』になることを一心に願っていたのです…。あたりまえのようにあった「日常」がどういふものなのか、真剣に考えさせられる一冊です。(し)

## Bookガイド



## 貸出冊数100万冊

達成!!



おかげさまで8月22日(日)、総貸出冊数が100万冊を超えました。記念すべき100万冊目の利用者となられた篠原由比さんと迅くん親子(中区在住)には記念品として「特産品と図書カード」が贈られました。

また、100万冊達成の日を予想する記念イベントでは162名の方々に投票していただきました。みごと22日を的中された方の中から厳正なる抽選のもと5名の方に「ふれっしゅあぐり館」のアイスクリーム券をお渡ししました。

クイズの  
答え

I...① II...③ III...②  
IV...② V...③

# こと 葉 ふくちゃんと言の 便り

爽快なペン捌きが 平成の世を斬る

～ 佐伯泰英 編 ～

読書とは名作を読むことだけではない  
読みたいものを読めばその本が、次の本へと  
導いてくれる

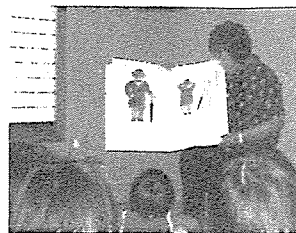
2007年 第9回「新!読書生活」の基調講演  
(活字文化推進会議主催)より

「残念だけど、うちでは、もうしんどい」佐伯は、今から12年前、編集者にそう告げられた。55歳になった佐伯は、作家生命の危機に直面した。別れ際に編集者は、慰めの意味でつぶやいた。「佐伯さんに残されたのは、時代小説だよな」この一言が、佐伯を剣豪物から捕物帳など10シリーズもの人気小説を、20日に1作品のペースで書き上げる超多忙作家へと生まれ変わらせた。佐伯の作風は、これまで海外を舞台にした国際謀略小説や冒険小説だった。新しい分野への挑戦では、「仕事帰りの電車の中で、現実を忘れて読んでもらうことを念頭に、時代小説を書き始めた」と話す。累計3,000万冊を超える作品は、頑なに文庫書き下ろしのスタイルを貫いている。「新!読書生活」の基調講演の最後に、「こつこつと腕を振るう職人の心意気がかがみに、私は、文庫書き下ろしの時代小説を、今後とも書き続けていくつもり。」と、心境を語った。

## 佐伯泰英さんに関するクイズです。

《こたえは最後のページに》

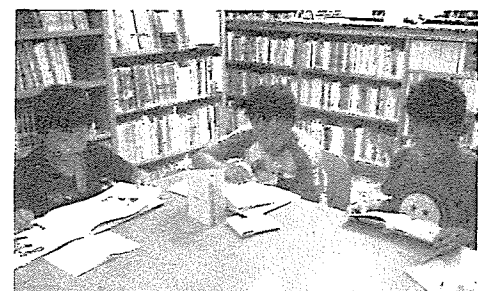
- I 佐伯さんが大学生の時、スタッフとして参加した映画は  
①「東京オリンピック」 ②「四谷怪談」  
③「七人の侍」 ④「ゴジラ」
- II 少年時代に、幾度も読み返した義兄の本は  
①鞍馬天狗 ②旗本退屈男 ③宮本武蔵 ④赤胴鈴之助
- III 29歳の時、写真家として4年間夫婦で暮らした国は  
①ブラジル ②スペイン ③アルゼンチン ④ベトナム
- IV 時代小説家への転機となった編集者が勤める出版社は  
①徳間書店 ②祥伝社 ③双葉社 ④光文社
- V 2007、2008、2009年とNHK木曜時代劇で放送されたシリーズは  
①古着屋総兵衛影始末 ②秘剣  
③居眠り磐音 江戸双紙 ④吉原裏同心



図書館では毎月第2・4土曜日に  
おはなし会を開催しています。それに加えて夏休み期間中は、小学生を対象にしたおはなし会、さらには中区の子育て学習センターと共催で2歳児とお母さんへの読み聞かせも実施しました。

## おはなし会

欲しいと思う本を取り上げました。参加人数は約180名。答え合わせ等を通じて日頃あまり言葉を使わすことのない子ども達とふれあうことができました。子ども達はもちろんのこと、図書館員にとっても楽しいひとときでした。

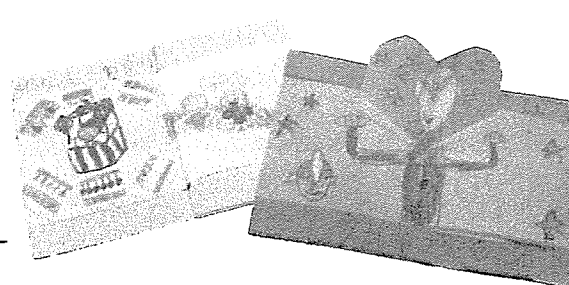
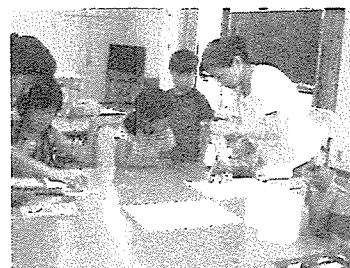


夏の恒例行事として定着した小学生対象のスタンディングライブラリーも、今年で7回目を迎えました。夏休み前から「今年はどんな本からクイズを出すの?」と、楽しみにしている子ども達の声をたくさん聞きました。今年は低中高各16冊の本の中から出題しました。高学年になるにつれ、読書量もぐっと増えるので大変なようでしたが、こういった機会にぜひ、読んで欲しいと思う本を取り上げました。参加人数は約180名。答え合わせ等を通じて日頃あまり言葉を使わすことのない子ども達とふれあうことができました。子ども達はもちろんのこと、図書館員にとっても楽しいひとときでした。

## スタンディングライブラリー

## 就業体験

8月4～6日に多可高校の生徒2名、また、8月17～19日は北はりま特別支援学校の生徒1名と先生に、図書館業務を体験してもらいました。体験を終えた生徒に感想を聞いたところ、「正直なところ仕事というものを甘くみていました。体験して、仕事をするとということはとても難しく、大変なものなんだなとわかりました。とても貴重な体験ができて、ありがとうございました。」とのことでした。



## トピックス

## 手作り絵本工作

7月31日～8月1日

手作り絵本作家の村上祐喜子先生をお招きし、今年も手作り絵本講座を開催しました。今年の手作り絵本は、「牛乳パックペタンコからくりえほん!」。絵本を外へ回していくと、不思議とページがどんどん出てくる絵本です。

今年で4年目のこの行事、今回は5歳から小学校6年生までの14名の子ども達が参加し、お母さんの飛び入り参加もありました。

1日目は、絵本の仕掛けを作り、物語を考えました。2日目は、絵本に物語を書き込み、最後のページの飛び出す仕掛けを作り、絵本を完成させました。最後は恥ずかしがりながらも、みんなが作品の発表会をしました。

仕掛け作りに、みんな手こずっている様子でしたが、世界に一つだけの自分の絵本を無事完成させました。子ども達の発想力にはただただ驚くばかりでした。子ども達がみんな笑顔で帰っていったことが何よりです。





# 図書館だより

発行 多可町図書館  
〒679-1133  
多可郡多可町中区糺屋 434-11  
TEL 0795(32)5170  
FAX 0795(32)5171  
<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



良書は貴方を待っている

多可町長 戸田善規

私は今、めったに見ないテレビに心を寄せている。久しく待ち望んでいた『坂の上の雲』が、一昨年にドラマ化され、年末には続編が放映されたからだ。

何度か本で親しんだ司馬遼太郎さんの名著だが、印象深い場面（記述）が、映像化すればどう映るのかにも興味を沸かした。

一方の読書は、浅田次郎さんの『中原の虹』が最終巻に入り、いよいよ佳境となってきた。私が『珍妃の井戸』『蒼穹の昴』と読み進んだ清朝末期の歴史物語は、『中原の虹』で完結する。この2人の作家の作品連鎖（連環）が（分けてあげたいぐらいに）私には面白い。

まことに小さな国が開花期を迎えようと坂を上っていく日清・日露の時代…。

司馬作品は、日本の側からみた歴史を解き明かす。一方、浅田作品は、同じ時代の歴史を中国側の内情から描き出す。その双方を併せて楽しめる時間は、正に読書人としては「至福の時」としか表しようがない。

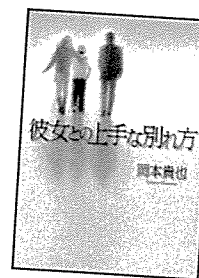
私はいつも入学式や卒業式で「本を読みなさい」と青少年に語りかける。良書は人生を豊かにしてくれるし、時空を越えて先輩や友人を創り出す。それに加えて、何人もの人生を共に生き、時々意思決定の是非を検証させてくれる。

特に若者には時間を作って（意識して）「本を読みなさい」と本稿でも勧めたい。

「図書館には、きつと貴方を待っている本がある」と、言を重ねて結びとしたい。

『彼女との上手な別れ方』  
岡本貴也／著 小学館（Fオカ）

ダフ屋を生業とするガジロウ。ある日、車に轢かれ、慰謝料をふんだくろうとするが、車に乗っていた4人はすでに死んでいた。呆然とする彼の前に、死んだはずの4人が成仏させて欲しいと現れて…。4人がそれぞれに想い残したことは…。ラストでは、目頭が熱くなるのを止められないこと、間違いなしです。（し）



『食べてポカポカ おいしいあたためレシピ』  
牧野直子／監修 講談社（596）



しょうが、とうがらし、玉ねぎ・ねぎ、根菜、にんにく…この体を温める食材のレシピが紹介されています。料理家は枝元なほみさん、杵島直美さん、飛田和緒さんなど。そして、食材のちょっとした紹介も役に立ちます。たとえば、ねぎ類のあたため効果を持つ成分は水溶性なので、さらしすぎると失われることや、スライスしたものを空気にさらしておく、血液サラサラ効果が高まることなどです。おいしいものを食べて、身も心もポカポカになりたいものですね。（と）

『橘花抄』  
葉室麟／著  
新潮社

14歳で父を亡くした卯乃は、黒田藩大蔵の側近、立花重根に引き取られるが、父の自害の原因が重根にあると聞き、気を病んで失明してしまう。そのため、重根の弟、峯均の元に移り住むことに。同じ頃、藩内には不穏な空気が流れ、立花家と卯乃はその中に巻き込まれていく。

数々の苦難に直面しながらも、凜とした生き様には心打たれるものがあります。

## Bookガイド



あけまして  
おめでとう  
ございます。

『月と蟹』  
道尾秀介／著  
文藝春秋



年に2回、芥川賞（純文学）と直木賞（大衆文学）の発表があります。芥川賞は新人に、直木賞は新人及び中堅作家に贈られる賞だそうです。

そこで勝手に近年、直木賞にノミネートされつづけている2人の作家、葉室麟さんと道尾秀介さんに注目してみました。いずれも22年下半年に発売された作品です。

発表は1月17日です。今回はどんな本がノミネートされ、どなたが受賞されるのでしょうか。楽しみですね。

祖父の家で暮らし始めた少年がやりばのない気持ちを、いつしかヤドカリを神にみたてたヤドカミ様に祈る。冗談半分で始めた遊びのはずが、願いが叶うにつれ、何かが変わり始めた。そして気がつけば、ヤドカミ様が静かにハサミを振り上げていたのだった。その正体とは何なのか…。

道尾ワールドをご堪能ください。



ちなみに過去、両方を受賞した方はいるのだろうか？と調べてみました。結果は0。ただ、両方にノミネートされた方が2名いらっしゃいました。両賞とも新人賞なので片方で受賞すると自動的にもう一方の権利は消滅するそうです。

こたえ I…② II…④ III…① IV…② V…①

	葉室麟さん	道尾秀介さん
H20 年下半年	『いのちなりけり』	『カラスの親指』
H21 年上半年	『秋月記』	『鬼の跫音』
H21 年下半年	『花や散るらん』	『球体の蛇』
H22 年上半年	—	『光媒の花』

# ストーリーテリング

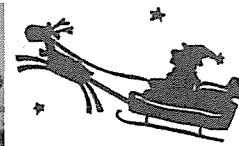
## 中級講座

(10月) 全5回

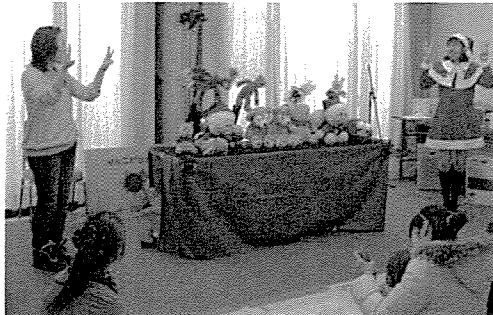


昨年度までの入門講座に変わり、今年度は、今まで受講された方々や実践されている方にさらにステップアップしていただくうち中級講座を開講しています。

入門講座ではどんなおはなしを選ぶか、そして何よりもおはなしを楽しんでもらうということを中心に学んできました。中級講座では、長編の一部の取り出し方などさらにもう一步踏み込んだ内容となっています。人のおはなしを聞く時はワクワク。そして自分の発表の時はドキドキ。たくさんのお話を読んで聞いていたりして、自分の味わった楽しさや面白さを地域での活動を通じて子ども達に伝えていただけたらと思います。



## おはなしがあさんによる クリスマス会 (12月10日)



♪はじまるよったらはじまるよ♪の楽しい手遊び歌が始まったおはなし会。『クリスマスにはおくりもの』、大型しかけ絵本『りんごがひとつ』、人形劇『おおきなかぶ』など楽しいおはなしが盛りだくさんでした。『大きなかぶ』の最後に抜いたかぶを「えいっ」と切ってみると、中から参加者全員のクリスマスプレゼントが出てきました。時の経つのを忘れるくらい楽しいひとときでした。

絵本サークル「おはなしがあさん」は毎月第1水曜日10時〜加美みなみ児童館で活動中。おすすめ絵本を持ち寄ってお母さん達で読みあいつこをしたり、時には保育所へ読み聞かせに行ったりと楽しくサークル活動をされています。現在、メンバーは石塚さん、藤本さん、細田さん、吉仲さんの4名。「興味のある方、ぜひ遊びに来てください。」とのこと。詳しくは八千代子育て学習センター(キッズランド八千代内)TEL(37)2525までお問い合わせください。

# こと 葉 らくちんの言の葉 便り

毎朝 10km ジョギングが日課の鉄人作家

～ 村上春樹 編 ～



いい物語は人の心を深く広くする  
深く広い心というのは、狭いところには  
入りたがらないものなのです。

～ 2008年5月12日 毎日新聞インタビューより～

ノーベル文学賞に一番近い日本の作家、村上春樹さんは、神戸高校時代に新聞委員会で鑑賞記事を書いたり文才の片鱗をみせています。1979年の30歳の時に『風の歌を聴け』で作家デビューを果たし、1987年の『ノルウェイの森』で超多忙作家となっていきます。

代表作『ノルウェイの森』は、昨年9月には国内発行部数で1,030万部を超え、一時『世界の中心で、愛をさけぶ』に抜かれていましたが、総累計で再び一位の座に返り咲いています。海外でも36言語に翻訳され、年々、世界中にハルキファンを増やしています。

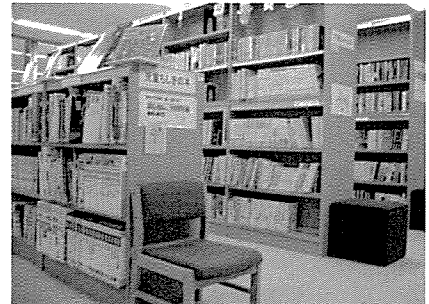
一昨年も『1Q84』で、再び社会現象化を起こした村上さんは、短編小説から長編小説・随筆・翻訳・絵本など多種多様な分野にわたり執筆されています。

今年は新たな、ハルキワールドへ出かけてはいかがでしょうか。

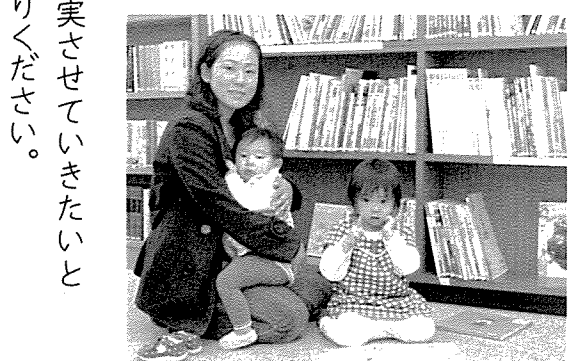
村上春樹さんに関するクイズです。《こたえは最後のページに》

- I 早稲田大学在学中に始めた「ピーターキャット」と名付けたお店とは  
①ペットショップ ②ジャズ喫茶  
③洋楽専門レコード店 ④洋書専門書店
- II 野球観戦中に「小説を書こう」と思い立ちました。その球場は  
①甲子園球場 ②後楽園球場 ③西宮球場 ④神宮球場
- III 雑誌「太陽」に広告用エッセイが掲載されています。広告主が扱う商品とは  
①万年筆 ②レコード盤 ③洋酒 ④フープロ
- IV 映画「ノルウェイの森」の撮影地になった兵庫の高原は  
①生野高原 ②砥峰高原 ③神鍋高原 ④ちくさ高原
- V 2008年に出版された翻訳本で、映画にもなったその本のタイトルは  
①ティファニーで朝食を ②太陽がいっぱい  
③ひまわり ④パピヨン

## トピックス



みなさんは新しくなった加美図書室に来られたことがありますか。昨年の5月に新しくなつてから早8ヶ月になります。机と椅子の数も増え、児童コーナーは子ども用の小さな赤い椅子になりました。小さな子どもが靴を脱いでおかあさんとゆっくり絵本を楽しむスペースもでき、とてもゆったりとした空間へと生まれ変わりました。絵本・児童書・小説はもとより、毎日の生活に役立つ本を揃えています。現在約1万3千冊の本を所蔵しています。以前の図書室に比べると、貸出冊数も1.6倍に増えました。年末年始以外、午後10時まで開館していますので、仕事帰りの方や、講座を受講されている方に活用いただいています。また、予約本受け取りの方にも喜んでいただいています。



※蔵書冊数、貸出冊数は11月末現在



## また、来てね♪



秋になると、毎年たくさんの子ども達が図書館を訪ねてくれます。11月10日に松井幼稚園児が、17・19日には中町幼稚園児が各組ごとに、さらに26日にはみなみ保育所4歳児の子ども達が元氣いっぱい図書館を訪ねてくれました。おはなし会のあと、それぞれ好きな本を選んでうれしそうに持ち帰る姿をみると、こちらまでうれしくなります。そしていつも元気をもらっています。

## 3月5、6日は 図書館まつり

毎年恒例となりました図書館まつり。今回で7回目を迎えます。「本のリサイクル広場」やいろいろなイベントがもりだくさんです。ぜひ、図書館へ遊びに来てください。

リサイクル図書をお願い  
本のリサイクル市に出してもよい本がございましたら、図書館までお持ちください。(漫画や雑誌、辞書類は除きます)  
※持ち込みは2月以降に  
お願いします。